

「マシーンの孤独 II」 マーク・ニンゲット写真展を MB&F の M.A.D.ギャラリーにて開催

M.A.D.ギャラリーは、スイスの名高い写真家マーク・ニンゲット氏の大判写真 7 枚による「マシーンの孤独」展第 2 弾を大きな喜びをもって開催する。

ジュネーブ出身のマーク・ニンゲット氏にとって、彼の子供の頃のヒーローをテーマに超現実的な写真シリーズを制作することは長年の望みだった。とは言え、高級時計や芸術写真という彼の普段のスタイルから外れるため、それを実行する場がこれまで見つからなかった。そう、2012 年に M.A.D.ギャラリーのために何か制作してほしいと請われるまでは。

「マクシミリアン・ブッサーから M.A.D.ギャラリーで私の写真展をしないかと提案された時、これは素晴らしいチャンスだ、普段私がしていることと全く違う何か、もっと遊び心があって、従来のスタイルやテーマから離れたものを制作するチャンスになると思いました。」

「そこで懐かしさで一杯になりながら、私のかつてのヒーローたちに再び眼を向け、この『マシーンの孤独』という写真集の制作に取りかかりました。」

今回の新たな「マシーンの孤独 II」写真展の核となっているマシーンは他でもない、フランスでは「Goldorak (ゴルドラック)」の名で知られている日本のアニメのロボット、グレンダイザーである。

「M.A.D.ギャラリーは彼にぴったりの環境です」とニンゲット氏は語る。「特に MB&F の人たちが自身がグレンダイザーのファンでもあり、何より MB&F のローターやバックルのデザインは、このロボットのバトルアックス (フランスでは *asterohache* として知られる) からヒントを得ているのですから。」

フリード星という架空の惑星に生まれグレンダイザーだが、ニンゲット氏は彼をコミックおよび TV アニメの環境から取り出して現実の世界——現代の我々の世界——に移し替えることに成功している。

その結果、このカルトロボットが現実の地球環境に置かれて感じている違和感や疎外感をかすかに滲ませた最高の芸術写真が生まれた。

この芸術作品の制作のために、ニンゲット氏はこれまでのキャリアを通じて少しずつ培ってきた、自ら「デジタルサンプリング」と呼ぶテクニックを駆使している。「マシーンの孤独 II」では、ロボットの三次元モデルが何枚も撮影され、その写真と彼専用のデータバンクにある写真が巧妙に組み合わせられた。このデータバンクこそ、ニンゲット氏がこれまで撮影し長年かけて蓄えた色彩豊かな画像のパレットであり、彼が「描く」ことができる材料なのだ。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36.

こうして出来上がったのが、グレンダイザーが、様々な世俗的風景の中に立っている印象的な写真である。クローズアップからロングショットまで、光と影が巧みに使われて、ロボットの存在は時に繊細であり、時に強く主張されている。

「私は子供向けゲームのパッケージのように見える画像にはしたくありませんでした。ロボットたちを現実の世界に溶け込ませ、彼らに感情を与え、ここで何をしているのだろうという戸惑いを持たせたかったのです。悲しみというより、彼らは道を見失い、自信をなくしているのです。」ニンゲット氏はつけ加えた。

「マシンの孤独 II」は7枚の写真で構成されており、各18枚限定の最高級写真プリントである。プリントは3種のサイズ：120cm x 84cm、170cm x 120cm、214cm x 150cm で用意されている。更には18個限定制作のコレクターボックスも用意されており、写真集の全7枚に加えてボーナス写真1枚が含まれている。

マーク・ニンゲット氏 経歴

マーク・ニンゲット氏は1972年ジュネーブに生まれた。1995年にヴヴェイ写真学校を卒業後、彼の作品に興味を示していた著名なフランス人写真家ドミニク・イッサーマン氏の第一カメラマン・アシスタントになるためにパリに向かう。フランスの首都で過ごす間にニンゲット氏はイッサーマン氏の指導のもと頭角を表し、技術と自信を身につけて独自のスタイルとテクニックを作り上げ、独立した。

1999年、ニンゲット氏がジュネーブに戻ってからはスタジオ・キュラなどでの仕事を通して、写真家としての評価がファッション業界と時計業界の双方で高まった。2006年には自身の写真・グラフィックデザイン会社「ラ・ファブリーク (La Fabrique)」を設立する。

ハイエンドのファッション業界、ジュエリー業界での仕事と平行して、ニンゲット氏はその才能を個人的な芸術作品にも注ぎ続け、15年以上にわたりそれを超える数の写真展を行ってきた。彼は主に人間、一貫して女性を被写体とする個人的な制作にますますエネルギーを傾けるようになっている。彼の作品を包み込む夢のようなベール、細部に向けられる彼の感受性豊かな眼差し、そして独自のスタイルと「デジタルサンプリング」と名づけられたテクニックによって、ニンゲット氏はスイス最高の芸術写真家の1人となっている。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36.